

# リプロダクティブヘルス分野

## 論文

### A 欧文

#### A-a

1. Umeno S, Kato C, Nagaura Y, Kondo H, Eto H: Characteristics of sleep/wake problems and delivery outcomes among pregnant Japanese women without gestational complications. BMC pregnancy and childbirth 20(1): 179, 2020. doi: 10.1186/s12884-020-02868-1. (IF: 3.007)
2. Kikuchi S, Nishihara K, Horiuchi S, Eto H: The influence of feeding method on a mother's circadian rhythm and on the development of her infant's circadian rest-activity rhythm. Early human development 145: 105046, 2020. doi: 10.1016/j.earlhumdev.2020.105046. (IF: 2.079)
3. Shozaki-Ito H, Ohnishi M, Shibayama T, Matsuyama Y, Nakao R, Morifuji K: Experiences of Dating Violence and Help-seeking Behaviour Among Japanese First-year University Students. Japanese Journal of Health and Human Ecology 86(3): 111-120, 2020. doi: 10.3861/kenko.86.3\_111.
4. Miyazaki A, Tung R, Taing B, Matsui M, Iwamoto A, Cox SE: Frequent unregulated use of antibiotics in rural Cambodian infants.. Transactions of the Royal Society of Tropical Medicine and Hygiene 114(6): 401-407, 2020. doi: 10.1093/trstmh/traa020. (IF: 2.184)

### B 邦文

#### B-a

1. 井上さとみ, 片岡弥恵子, 江藤宏美: 「エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期2016」: 日本の産科医療施設における妊娠期ケア方針に関する調査. 日本助産学会誌 34(1): 114-125, 2020.
2. 永井真理子, 森藤香奈子, 佐々木規子, 松本 正, 近藤達郎, 宮原春美: 遺伝学的検査を受検した児の結果開示を受けた母親の経験. 日本遺伝看護学会誌 18(2): 53-62, 2020.
3. 山本佳世乃, 河村理恵, 佐々木規子: 日本遺伝カウンセリング学会誌利用者需要に関するアンケート報告書 令和元年7月2日. 日本遺伝カウンセリング学会誌 41(1): 39-43, 2020.
4. 浅野浩子, 中込さと子, 終中智恵子, 佐々木規子, 野間口千香穂: 周産期遺伝看護教育プログラムによる母性看護専門看護師の看護実践の変容. 日本遺伝看護学会 19(1): 50-61, 2020.
5. 永橋美幸, 大石和代: 妊婦による愛着行動と胎児愛着ならびに唾液オキシトシンとの関連. 母性衛生 61(1): 59-66, 2020.
6. 松竹ゆには, 永橋美幸: 高校生における月経教育が月経痛に対するセルフケアの変容に与える効果. 日本助産学会誌 34(1): 69-80, 2020.

#### B-b

1. 近藤英明, 江藤宏美: 【睡眠障害の基礎と臨床】各科領域・疾患における睡眠障害 妊婦における睡眠障害. 日本臨床 78(増刊6 最新臨床睡眠学(第2版)): 637-642, 2020.
2. 堀内成子, 飯田真理子, 江藤宏美, 片岡弥恵子, 宍戸恵理, 下田佳奈, 田所由利子, 増澤祐子, 馬場香里, 八重ゆかり: エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期 2020. 日本助産学会誌 33(別冊): 1-183, 2020.

#### B-c

1. 小林康江, 中込さと子, 荒木奈緒編集, (分担) 江藤宏美: 11 特殊なニーズをもつ妊産婦と家族への支援. 看護基礎教育テキスト ナーシング・グラフィカ「母性看護実践」第1版, 株式会社メディカ出版: 337-340, 2020.
2. 中込さと子, 小林康江, 荒木奈緒編集, (分担) 江藤宏美: 3 リプロダクティブヘルスに関する動向. ナーシング・グラフィカ母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護, 株式会社メディカ出版: 43-52, 2020.

#### B-d

1. 江藤宏美: 「地域とともにすすめる母乳育児」切れ目なくみんなで支える 長崎県内の保育施設の調査結果から見た母乳育児の実態 働くお母さんが増え、保育園での母乳育児支援は重要なテーマです。長崎県の全保育園の調査報告をいたします. 母乳育児シンポジウム記録集 27: 161-167, 2020.
2. 小西郁生, 久具宏司, 山田重人, 山田崇弘, 西垣昌和, 三宅秀彦, 池田真理子, 左合治彦, 佐々木愛子, 佐々木規子, 鈴森伸宏, 福島明宗, 福嶋義光, 蒔田芳男, 伊尾紳吾: 出生前診断における遺伝カウンセリング体制の構築に関する研究【第2分科会】 遺伝カウンセリングに関する知識及び技術向上に関する医療従事者向けの研修プログラムの開発. 出生前診断における遺伝カウンセリング体制の構築に関する研究 平成31/令和元年度 研究報告書(Web): 2020.

B-c-1

1. 増澤祐子, 馬場香里, 江藤 宏美: エビデンスに基づく助産ガイドライン2020の作成 分娩第3期の積極的管理における子宮収縮薬は何か効果的か?. 日本看護科学学会学術集会抄録集: 317, 2020.
2. 馬場香里, 増澤祐子, 江藤 宏美: エビデンスに基づく助産ガイドライン2020より 児童虐待ハイリスクの親に有効な介入は?. 母性衛生 61(3): 135, 2020.
3. 高尾真未, 佐々木規子, 松本 正, 黒田裕美, 本田純久, 宮原春美, 黒木良和, 今村 明, 近藤達郎, 森藤香奈子: ダウン症候群のある人のための認知評価尺度(日本語版CS-DS)の信頼性と妥当性の検証(第2報). 日本遺伝カウンセリング学会誌 41(2): 150, 2020.
4. 森藤香奈子, 松本 正, 佐藤信二, 宮田海香子, 高尾真未, 渡邊 淳, 武田右子, 宮原春美, 佐々木規子: NIPTを題材とした高校生向け遺伝教育プログラムの開発および評価. 日本遺伝カウンセリング学会誌 41(2): 131, 2020.
5. 森藤香奈子, 金丸 翠, 武田美帆, 田口杏菜, 深堀可南子, 佐々木規子, 本多直子, 福田雅文, 岡田雅彦, 佐瀬晶子, 森内浩幸: 排泄介助が必要な子どもと外出する親が経験したトラブルの分析. 小児保健研究 79(講演集): 175, 2020.
6. 佐々木規子, 森藤香奈子, 松土良子, 中込さと子: 成人期にあるPrader-Willi症候群のある人の生きづらさ. 日本遺伝カウンセリング学会誌 41(2): 142, 2020.
7. 宮田海香子, 長谷川ゆり, 三浦生子, 佐々木規子, 三浦清徳: 当院におけるNIPTに関する遺伝カウンセリングと今後の課題. 日本遺伝カウンセリング学会誌 41(2): 99, 2020.
8. 大津里緒菜, 平間理子, 森藤香奈子, 佐々木規子: 特別支援教育を必要とする児の就学先決定におけるプロセス. 日本遺伝看護学会誌 19(1): 20, 2020.
9. 佐々木規子, 沓脱小枝子, 鈴木智恵子, 北村千章, 渡邊 淳, 野間口千香穂, 中込さと子: 看護基礎教育課程における遺伝医学・遺伝看護学教育の実態調査. 日本遺伝看護学会誌 19(1): 17, 2020.
10. 荒川玲子, 池田真理子, 河村理恵, 佐々木規子, 鈴木伸宏, 徳富智明, 中谷 中, 山本佳世乃, 古庄知己: 新型コロナウイルス関連特集 【巻頭言】 三密にならずに, 体と心に寄り添った遺伝カウンセリングを実践・教育するために - 空間的距離は離れても心理的距離はより近く -. 日本遺伝カウンセリング学会誌 41(4): 179-180, 2020.
11. 根ヶ山莉乃, 永橋美幸: 妊婦に対する夫の役割行動実践度とEork-Family Conflictとの関連. 日本助産学会誌 32(3): 351, 2020.
12. 田坂真紀, 大石和代, 永橋美幸: 産褥早期の母親の授乳前後の唾液オキシトシンの変化とその要因一産後2日と産後4日を比較して-. 日本助産学会誌 33(3): 422, 2020.
13. 本多直子, 清水南海, 屋比久志穂, 森藤香奈子, 船越康智, 岡田雅彦: 思春期の小児がん経験者の学校生活における自己開示-インタビュー調査から-. 小児保健研究 79(講演集): 200, 2020.

B-c-2

1. 増澤祐子, 江藤宏美: 新しくなった『エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期・産褥期2020』. ペリネイタルケア 39(8): 76-81, 2020.
2. 増澤祐子, 江藤 宏美(日本助産学会ガイドライン委員会): 新しくなった『エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期2020』. ペリネイタルケア 39(8): 852-857, 2020.
3. 増澤祐子, 江藤 宏美(日本助産学会ガイドライン委員会): 『エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期2020』を活用しよう 改訂ポイントの紹介と活用のすすめ. 助産雑誌 74(9): 684-687, 2020.
4. 森藤香奈子, 佐々木規子: 18 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 保健学専攻 看護学講座 リプロダクティブヘルス分野 遺伝看護・遺伝カウンセリングコースの対応. 日本遺伝カウンセリング学会誌 41(4): 243-245, 2020.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	12	0	12

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
大石和代・教授	評議員	日本熱帯医学会
大石和代・教授	役員	長崎県総合公衆衛生研究会
大石和代・教授	顧問	長崎いのちを大切にする会
江藤宏美・教授	副理事長	日本助産学会
江藤宏美・教授	評議員	聖路加看護学会
江藤宏美・教授	常任理事	長崎県母性衛生学会
江藤宏美・教授	理事	一般財団法人日本助産評価機構

江藤宏美・教授	将来構想委員会委員	全国助産師教育協議会
江藤宏美・教授	ガイドライン委員会委員長	日本助産学会
江藤宏美・教授	英文誌編集委員会 Managing Editor	日本看護科学学会
江藤宏美・教授	会長	長崎県助産師会
江藤宏美・教授	看護科学研究編集委員	大分県立看護科学大学看護研究交流センター
江藤宏美・教授	ペリネイタルケア編集委員	メディカ出版株式会社
江藤宏美・教授	理事	長崎県小児保健協会
江藤宏美・教授	評価基準検討委員会委員	一般財団法人日本看護学教育評価機構
佐々木規子・准教授	遺伝教育啓発委員会委員	日本遺伝カウンセリング学会
佐々木規子・准教授	遺伝看護委員会委員	日本遺伝カウンセリング学会
佐々木規子・准教授	理事	日本遺伝看護学会
佐々木規子・准教授	常任理事	長崎県母性衛生学会
佐々木規子・准教授	編集委員会委員	日本遺伝カウンセリング学会
佐々木規子・准教授	評議員	日本人類遺伝学会
佐々木規子・准教授	エイズ・性感染症専門部会委員	長崎県感染症対策委員会
佐々木規子・准教授	教育委員会委員	日本遺伝看護学会
佐々木規子・准教授	査読委員	日本遺伝看護学会
佐々木規子・准教授	看護科学研究査読委員	大分県立看護科学大学看護研究交流センター
永橋美幸・准教授	理事	長崎県助産師会
永橋美幸・准教授	専任査読委員	日本助産学会
永橋美幸・准教授	理事	公益社団法人全国助産師教育協議会
永橋美幸・准教授	長崎県看護学会誌掲載論文査読員	長崎県看護協会
森藤香奈子・准教授	長崎県看護学会誌掲載論文査読員	長崎県看護協会
森藤香奈子・准教授	日本遺伝看護学会誌査読委員	日本遺伝看護学会
森藤香奈子・准教授	若手による小児保健検討委員会準備委員会委員	日本小児保健協会
本多直子・助教	長崎県看護学会学術集会抄録査読員	長崎県看護協会
本多直子・助教	運営委員	長崎県看護協会県南支部

### 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
江藤宏美・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(A) テラーメイドな出産・育児を促進するオキシトシン活性化プログラムの開発と普及
江藤宏美・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) ICTを活用したDVハイリスク妊婦への支援プログラムの開発と評価
江藤宏美・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 骨盤底機能障害を予防する助産ケアのプログラム開発
江藤宏美・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 女性活躍推進時代に働く女性と男性の地域包括子育て母乳育児支援プラットフォーム構築
江藤宏美・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 助産師教育における実習生の質保証のための助産学共用試験の実用化と認証システム開発
佐々木規子・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) ブラダー・ウィリ症候群者の社会的適応を促進するための当事者プログラムの開発
永橋美幸・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 帝王切開術後の母親の授乳前後のオキシトシンの推移とその要因について
永橋美幸・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 妊婦の腹部を介した胎児へのタッチングと胎児愛着との関連～オキシトシンの推移から～

藤田和佳子・准教授	日本学術振興会	代表	若手研究 ザンビアにおける入院時胎児モニタリング異常波形と母体リスク因子の関連の解明
森藤香奈子・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 初等・中等教育における遺伝学を用いた命の学習プログラム開発と導入に向けた検討
森藤香奈子・准教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究(萌芽) ダウン症者のための認知機能評価尺度の開発と汎用化のための検討
本多直子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 小児がん経験者の学校生活における自己開示のWebシステムによる支援の開発
宮崎あすか・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 妊娠期におけるビタミンD欠乏症とストレスレグス症候群との関連

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
佐々木規子・准教授	非常勤講師(女性のライフサイクル支援論)	長崎市医師会看護専門学校
佐々木規子・准教授	非常勤講師(医療遺伝学, 女性健康看護学演習)	甲南女子大学
永橋美幸・准教授	実習指導者会講習会(助産師課程)	長崎県看護協会

### 新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
江藤宏美・教授	長崎県助産師会 防災手拭い	長崎新聞	2020年8月5日	助産師会で、“母子”に特化した防災手拭いを作成した。内容は、日頃からバッグに入れておくの良いもの、非常用持ち出し物品について、便利な手拭いの使い方、そして、助産師からのメッセージなどが盛り込み、防災イベント時などに配布している。
森藤香奈子・准教授	遺伝子検査の重み学ぶ	毎日新聞	2020年1月28日	遺伝学的検査の普及と一般市民への遺伝リテラシーの乖離についての記事の中で、高校生に対する教育の一例として取材を受けた
森藤香奈子・准教授	出生前診断受ける?受けない?青山学院高等部で10代はこう悩んだ	講談社 現代ビジネス FRaU (Web雑誌)	2020年1月31日	ヒトの遺伝は初等・中等教育では取り入れられていないが、高校生物の特別講義として、遺伝学習とそれに伴う倫理的課題に取り組んだ。

### 学術賞受賞

氏名・職	賞の名称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
森藤香奈子・准教授	令和2年度「小児保健・愛育会賞」	日本小児保健協会	小児在宅医療ケア児の外出支援「トイレ貸して」運動
宮崎あすか・助教	2020年度日本国際保健医療学会奨励賞	国際保健医療学会	Frequent unregulated use of antibiotics in rural Cambodian infants

### 特筆すべき事項

遺伝教育プロジェクトとして、子どもや一般人を対象と遺伝教育を実践しており、2020年は青山学院高等部、長崎県保育協会での出前講座を実施した。また、長崎市内子育て支援センター3カ所において毎月1回、無料の育児相談を行った。